

旭民報

2012年
5月24日
=再刊=
第537号

=連絡先=

発行所 日本共産党尾張旭市委員会
0561-527-5894 FAX 51-4011
川村 つよし 090-2927-3776
さかきばら利宏 090-2266-7284

5月16日に開かれた、市議会臨時議会で新年度の議会人事が決まりました。結果は左一覽の通りです。

議長には、投票により岩橋盛文議員が19票中16票を獲得し選ばれました。事前の各派代表者会での調整済みの人事でしたが、投票による選出となつた背景は「市長出身会派（市民）が議会人事を材料にして市長選への支援を保守系会派（政新）から得たかのように見える人事を、そのまま合意できない。」などとして、山下議員（みんな）が投票による選出を求め

ためです。

市長選で、もう一方の保守系会派（フロ旭）が自民系候補を支援したことで、保守二回派間の溝が深まっています。若杉議員（フロ旭）を副議長に据えることに関係修復を図つたようにも見えます。

今回の正副議長人事は、期数や所属会派の大きさから言えば異常なものでありませんが、議会を三分した市長選直後の後味の悪さを感じます。

今年度の議会人事で、もう一つ注目していたのが、一部事務組合議会への選

出について、昨年合意で

きた内容が守られるかどうかでした。昨年合意できた内容というのは、「1人の議員が複数の一部事務組合に行かないように配慮する」というもので、ほぼ同時期に開催される一部事務組合議会の議案審査を、各議員が充分こなせるようにした

ものです。それにより昨年は、一人会派の川村議員、坂江議員も一部事務組合へ選出されましたが、今年市長選立候補のため2名が辞職し、どうしても重複が生じる状況で、昨年の合意が消える可能性も

ありました。

そこで川村議員が代表者会へ、昨年の合意を維持できるよう提案を行い、合意は維持されました。昨年、一期目の一人会派という理由で、1人選出されなかった松本氏（元減税）も選出が内定していません。

他市議員に迷惑をかけないか懸念とところが代表者会で内定していた議会人事を、覆す事態が起きます。

議会の役員人事を検討する際、秘密会とするのが通例で、今回も秘密会としましたが、その内容を松本氏が公表してしまつたのです。しかも選出が内定した代表者会の最後に、秘密会の内容がすでに一部漏れてしまつていること、それは懲罰の対象になり得るもの

だとして、注意喚起がされた直後の彼の公表だったことが特に問題視され、一度は合意した人事が再検討された結果、松本氏の行動は、尾張旭市議会の中だけにとどまらず、他市の議員にも迷惑がかりかねないとして、松本氏の組合議会への選出が取り消されました。

秘密会が通例となっている理由は、あまり知られていない議員個人の情報、病状など噂を含めて出し合えるようにし、議会として人選の不安材料を払拭させるねらいと理解しています。例えば、極端な例ですが「あの議員は物忘れが多く職員からも痴呆がはじまつているのでは？」と疑われている「などという話は、公表される会議で言いにくい話です。

5月臨時議会で 決まった 議会役員人事

議長 岩橋 盛文
副議長 若杉 たかし
監査委員 早川 八郎

各委員会の氏名の前にある
は委員長を、は副委員長を示す

議会運営委員会

牧野 一吉	相羽 晴光
伊藤 憲男	片淵 卓三
川村 つよし	篠田 一彦
武田 なおき	山下 幹雄

総務委員会

片淵 卓三	武田 なおき
秋田 進	岩橋 盛文
早川 八郎	山下 幹雄

福祉文教委員会

篠田 一彦	みとべ 茂樹
伊藤 恵理子	伊藤 憲男
大島 もえ	花井 守行
若杉 たかし	

都市環境委員会

相羽 晴光	丸山 幸子
川村 つよし	牧野 一吉
松本 和夫	森 和実

議会広報委員会

川村 つよし	みとべ 茂樹
相羽 晴光	伊藤 恵理子
牧野 一吉	森 和実
山下 幹雄	

尾張東部衛生組合議会議員

秋田 進	大島 もえ
片淵 卓三	武田 なおき
山下 幹雄	

尾張旭市長久手市衛生組合議会議員

伊藤 恵理子	篠田 一彦
丸山 幸子	みとべ 茂樹
森 和実	

公立陶生病院組合議会議員

相羽 晴光	伊藤 恵理子
花井 守行	

瀬戸旭看護専門学校組合議会議員

伊藤 憲男	川村 つよし
牧野 一吉	

尾張農業共済事務組合議会議員

山下 幹雄	
-------	--

都市計画審議会委員

片淵 卓三	武田 なおき
牧野 一吉	みとべ 茂樹
山下 幹雄	

土地開発公社理事

秋田 進	篠田 一彦
丸山 幸子	森 和実

